三ヶ所小学校区における五ヶ瀬町小学校適正規模に係る座談会　意見整理

１．開催概要

開催日時：令和８年２月２６日（木）19：00～20：30
場所　　：五ヶ瀬町役場３階議場
出席者数：３５名（保護者１３名、地区住民２２名）

２．パネルディスカッション

質問		回答
①	現在の全校複式学級という環境において、子どもたちが得ているメリット、逆に懸念しているデメリットは何だと思われますか？	【津奈木教育長】 ・複式指導は、２学級（２学年）で一人しか教師の確保ができないので仕方なく選ばざるを得ない指導形態である。前進させるための新しい指導方法ではない。教師が複数人いれば選ぶ必要がない指導であるということをご理解いただきたい。 ・メリットは子供たち主体で学べる事。上級生を手本にして学べること。 ・デメリットは、教師が学年間を移動するため、児童同士で話し合いが違う方向に進みそうになった場合に方向修正ができないなど、学びの途中の見届けができないということ。
②	複式学級での学習や、固定化された人間関係の中で、子どもたちの様子（意欲や社会性など）を見ていて、特に「変えてあげたい」と感じる部分はありますか？	【PTA・教育振興会代表　飯干様】 ・Ｇ授業で他校の同級生と学習する機会や、地域の方との交流があるが、もう少し増やしてほしい。 ・運動面での学習も取り入れて競争心を育てることも子どもたちにとって大事である。
③	地域のお年寄りや子育ての終わられたご家庭など、地域住民の皆様にとって、地域の子どもたちが与えてくれる喜びとは何だと思われますか？	【公民館長代表　米田様】 ・地域に子どもがいるかいないかは、その地域の活性化や色々な行事をするにあたって重要である。 ・我々の子どもたちの時代からするとその頃の１割もいなくなった。夏休みの朝はお寺の庭でラジオ体操をする姿や

1

質問		回答
		近所の川で川遊びをする姿が沢山あって地区が盛んに活動していた。 ・喜びは、子どもたちがいることが喜びである。
④	少子化で同世代の友達と学んだり、遊んだりする機会が少ない子どもたちにとって、町の子どもたちが地域の外の広い世界をのぞいたり、多くの友達と切磋琢磨しながら豊かに学んでいくことの必要性をどのように考えられますか？	【学校運営協議会代表　藤岡様】 ・今日のように少子化が進行すると１学年の生徒数が減少し、学校の運営や存続が困難になる。 ・5 名より 10 名、10 名より 20 名といった学級の編成の中で子供たちがより多くの仲間と切磋琢磨しながら成長していくのが望まれるところ。 ・学年によっても個性があるので一概には言えないが小規模ながら環境を整えていくべき。
⑤	あなたがこの町で子どもを育て続けたい、あるいはこの町を子育ての場として選びたいと思うために、学校教育に最も期待する要素は何ですか？	【子育て世代代表　後藤様】 ・現在、中学生、小学生、保育園児の子育てをしているが、将来の進学、就職に繋がるよう、ひとりひとりに細やかな指導をしてもらうことを期待している。 ・共働きや、ひとり親世帯が多い中で、学校が安心して過ごせる場であってほしい。親が安心して働けることを期待している。
⑥	全国的な視点から見て、子供たちが多様な価値観に触れ、切磋琢磨するために必要な「集団の規模」について、教育委員会としてどのようにお考えでしょうか？	【津奈木教育長】 ・自治体によって環境も異なるが、同じ学年集団の単一学級で学ぶことは学習の工夫もしやすいし共同的な学びや、伝え合う表現力を養うのにも必要。最低限でも複式学級が解消できればよい。 ・具体的には 1 年生と 2 年生の合計が合計9名以上いないと単式にはなれない。ただし2年生以上は合計で17名以上いなければ 2 年生と 3 年生は複式になってしまう。つまり、2 年生が 10 名いたとしても 3 年生が 6 名ならば 2 年生は複式になる。それぞれの学年が 9 名以上いて他の学年と合わせても17名を下らない人数がいないと多様な学びが展開できる最適人数の考えにはならない。

2

質問		回答
		・多ければ良い訳ではない。大人数の大規模学校だと役割分担が細分化され一人当たりの経験値が少なくなり、活躍の場が減るデメリットがある。 ・先生の目が行き届いて一人一人の活躍が保証されてしっかりと子どもたちが鍛え上げられるフィールドは 1 学級 10 名～25 名の範囲ではないかと思う。
⑦	学校統合を検討する際、保護者として『これだけは譲れない、守ってほしい』という条件や環境は何でしょうか？	【PTA・教育振興会代表　飯干様】 地域の伝統芸能を引き継いでいってほしい。統合になっても他の地域の伝統芸能を覚えることが子どもたちの勉強にもなる。
⑧	地域から学校がなくなると寂しいという声も聞きますが、どんな行事や取組があれば子どもたちと地域との触れ合いが継続できると思われますか？	【公民館長代表　米田様】 ・地域から学校や母校が無くなるとか、統合して名前が変わるのが寂しいとか、誰でも感じること。 ・統合の問題が今日のテーマだと思うが、保育園、小学校保護者たちと行政がしっかり膝を付け合わせ話し合いスピード感をもって取り組むのが大事。
⑨	これから先も各地域の協力者（高齢者等）が子どもたちと関わり続け、物作りや昔の話を聞かせたりする機会を守っていくには、どんな工夫があると良いと思いますか？	【学校運営協議会代表　藤岡様】 ・今日のように生徒数が減少していく中で適正な学校運営ができるのか懸念している。 ・統合の話が出てくると地域から子供の声が消えるといった心配がでてくる。こどもたちが伝統芸能の伝承をしていく中で統廃合は避けて通れない。 ・地域や子供たちのことに配慮しながら、複式・単式の特色も考え進めていくべき。
⑩	現在、学校に通わせている、また、これから学校に通わせる保護者としての不安や希望など、いま伝えたいことは何でしょうか？	【子育て世代代表　後藤様】 ・今後もこの 4 校で学校を継続したときに、１学年にきちんと１人の先生を確保して勉強ができる体制がとれるのかが凄く不安。 ・町内は複式学級が当たり前になっているができれば１学年に１人の先生がいて勉強ができる環境がいいのかなと思

3

質問		回答
		う。三ヶ所小学校は教科担当制ということで各教科で教えていただく体制ができているが、片方は黒板を見て、もう片方は後ろを向いて…という勉強体制が本当に子ども達が集中できているのか疑問。 ・給食調理員のなり手不足でギリギリの状態。2学期から親子方式で三ヶ所・上組・坂本の分は三ヶ所小で作ることが決まったが、先生方はこれまで通り自校方式で温かい出来立てを食べさせたいという思いがあったと思う。給食は学校教育と同じくらい大切で、子ども達も楽しみで学校に通っているので、統合すれば温かく美味しい給食が食べれるのかなと思う。自校方式の給食調理ができるのが望ましい。
⑪	「五ヶ瀬町として適正な学級数や生徒数について検討していくべきと思うか?」との問いに対し、町民アンケートで約５割、保護者で６割を超える方が「全ての小学校について、できるだけ早く検討していくべき」と回答されていますが、検討に当たって留意すべきこととしてどのようなことが考えられますか？それぞれのお立場からご意見をいただきたいと思います。	【津奈木教育長】 ・行政はそれぞれの意見をまとめる役割なので、アンケートが100%でない以上は異なる意見の懸念材料に耳を傾け、その懸念を少しでも解消しながら進めるのが大事。 ・米田さんが先程スピード感をもってと言われたがそれも大事。学校は子どもが主役だが、地域の方々もあらゆる面で主役になれる貴重な場。小規模であってもそこに学校があった恩恵を地域の皆さんが受けているという点は、未来の学校がどのような形になっても皆で知恵を出し合って担保しなければならない。 ・伝統やノスタルジーに引っ張られ過ぎては、時代に応じた子ども達の学びを保証することはできないかもしれな

4

質問		回答
		い。しかし地域と共に人材を育成されるという基本原則を見失わない学校の在り方を考えることは、この中山間地域の学校に託された課題だと思う。
		【PTA・教育振興会代表　飯干様】 ・昨年、子ども達を中心に多くの地域の方々と創立 150 周年祭をやったが、その学校が無くなるとなると寂しい。 ・しかし子どもが少ないとなると存続も難しいので考えをまとめて進めていかなければならない。
		【公民館長代表　米田様】 ・データでは 5 年後の令和 12 年には児童数が 87 名になると言うことで、今こうやってアンケートやこの会がある訳で、いつやるかということになると思う。 ・5 年、7 年、10 年というのはあっという間。始めた以上は子ども達、保護者の気持ちになってスピード感を持って進めていくべきだと思う。
		【学校運営協議会代表　藤岡様】 ・子どもが減っていくと学校の運営等に様々な支障がでてくるのではと思う。教育環境に関わる団体活動でも体験できる機会が減ってくると思う。 ・子ども達の特性を伸ばす時期を失うと思う。子ども達の立場や特性を考え早めに進めていくべきだと思う。
		【子育て世代代表　後藤様】 ・5 年、10 年はあっという間と言われている中で、検討していく、検討していくとずっと言っているだけでは、中々変えられないと思う。 ・余力があるうちに子ども達のことを考

5

質問		回答
		えて早く動かなければならないと思う。G 授業やふれあい広場など良い所もあるので、良い所も残しつつ余力がある内に早く進めて欲しい。

３．グループワーク

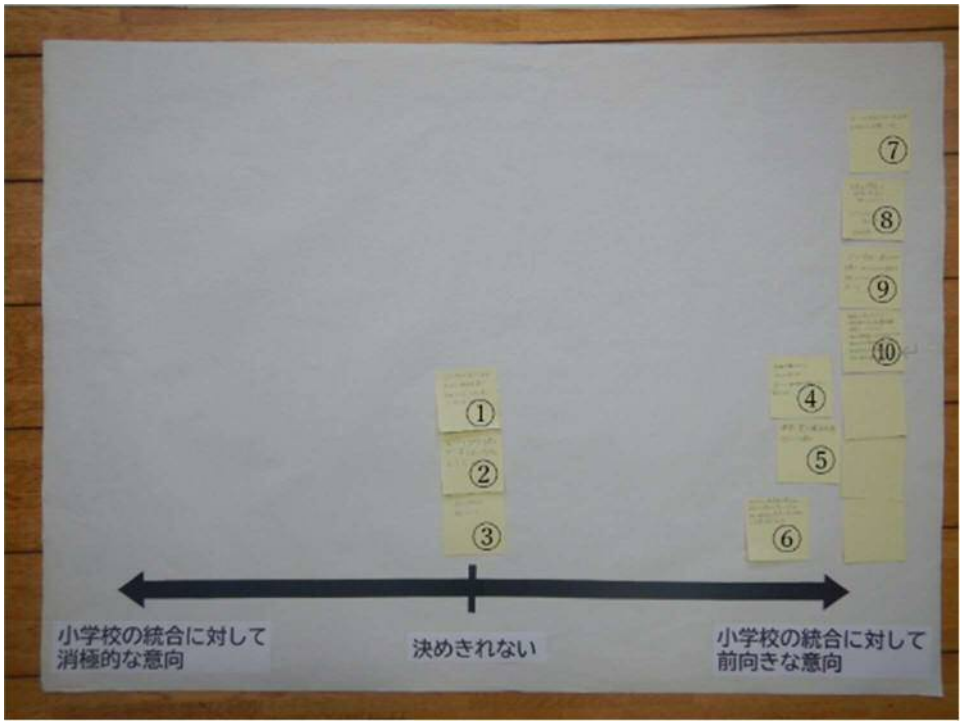
	意見
保護者	・統合を考えないといけないが、各学校で温度差がある。統合と決まったとしても 4～5 年くらい時間がかかってしまうので、それも加味しながらある程度のことを考えて進めていかないといけないと思う。 ・方向性は大体決まってきているのではないかという意見があった。また、それは分かりながらもどうにか各地区に残せないのかという相反する考えもあり、この人口減少に直面している中山間地域では、単式は１学年何名と言う決められた数字では厳しいので何とか変えられないのか？という意見も出た。放課後教室を利用している方からは、授業が終わった後の子どもたち豹変ぶりが激しい、授業中は子ども達が抑圧されていて終わったとたんに弾ける、先生が来ると態度が変わり猫をかぶっている等との意見もあった。この話し合いはもっと早くにするべきではなかったか？余力のある内に保護者が中心となりより良い学校になればという意見も出された。 ・４校をどうにか残したいのであれば、その日その日で１年生は上組、２年生３年生は坂本、４年生５年生は鞍岡、６年生は三ヶ所…という風に、４校が１つの小学校の分校という風にして児童が行き来し、それぞれの学校を活かしていく。そうすれば競争心が育つし地域の違う子のレベルの違いがわかる。単純に一つにしてしまうのが正解なのか、無理をしてでも残して、その間に子どもが増えるような良い環境になるのを待つのか。また、統合により何処に小学校が建つかでも考え方が変わってくるのではないか。 ・さっさと統合して欲しいとの意見が保育園児がいる保護者からあった。また、アンケートでは、早く検討すべきという意見が６割ということだが、地区でその傾向は異なるのではない

6

	か。そうであるならば、そこをケアしながら進めていかなければならないと思う。
地区住民	・複式だと競争心が育たないのか？単式にすれば全てが解決するのか？そこの丁寧な議論がないと簡単には進められないというのが話題になった。 ・結論を出すのが難しいという意見。複式に対して悪いイメージは持っておらず良い面を感じながら子どもは教育を受けてきたので何とも言えない。長い目で見て結論を出さないといけないが、誰かに決めていただいた方がとてもやりやすいと思う。

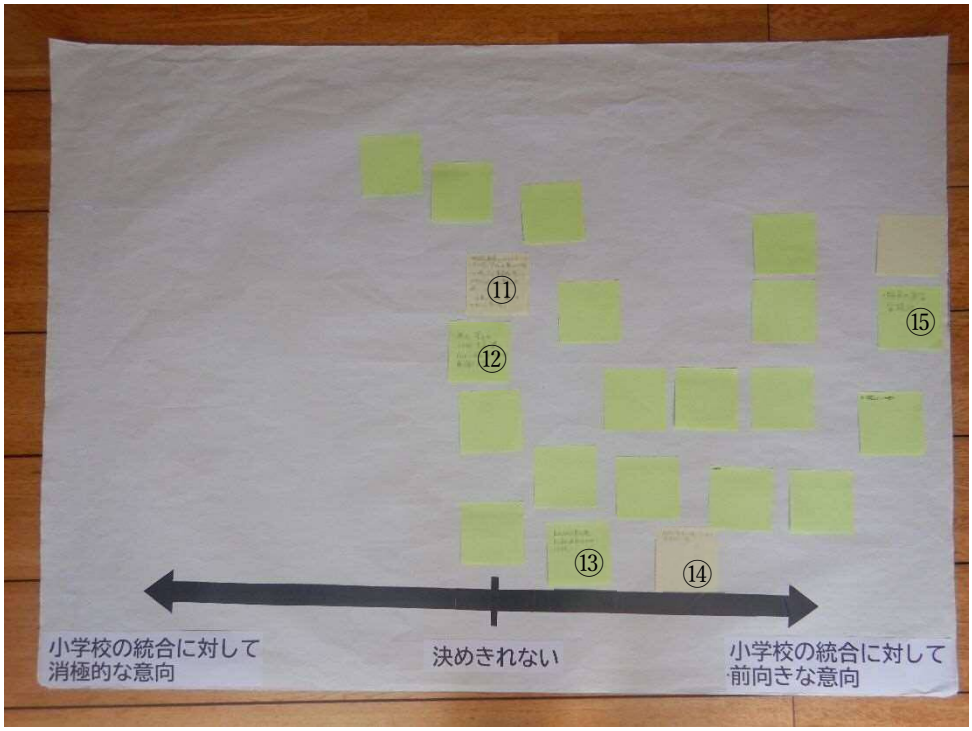
４．小学校統合に対する現時点での意向

（保護者）



7

（地区住民）



付箋番号	意見
（保護者）	
①	小学校を統合するのであれば中学校と同じ敷地にして小中一貫にした方が良いと思います。
②	どちらでも構わないがより良い方向にしてください。
③	単式ができれば単式が良い。
④	伝統を残していく。より良くあるうちに。今まで通り美味しい給食を提供してください。
⑤	教育の質を確保するためスポーツ強化。
⑥	子ども達の教育面を考えると統合も必要かと思いますが、他の地域との意見のすり合わせが必要と感じました。
⑦	今いる小学生のためにも敏速に対応をお願い致します。
⑧	校舎の問題は保護者の意見を聞いてください。沢山の子ども達と学ぶ場を！自校給食で。
⑨	どこに学校を建てるのか次第で皆さんの意見も変わってくるのではないかと思います。
⑩	複式はやめてほしい。給食ありなら五ケ瀬中学校校舎がいいのでは？町

8

付箋番号	意見
	は移住者に力を入れるのではなく自分の子どもの帰郷に目を向けてもらえるプロジェクトを願う。子どもが増える努力が必要と思う。
（地区住民）	
⑪	中学校の職員でもあるので、どちらの立場に立つのがいいか難しいです。地域の方や保護者の思いを大切にしながら決定して欲しい。児童の意見も聞いてみたいと思った。
⑫	複式・単式のどちらが教育の質の高さを保つことができるのか議論が必要。
⑬	各地区の伝統を残し、共に学ぶ姿勢は大切にしてほしい。
⑭	子どもの意向は聞いているか知りたいです。
⑮	特色のある学校に。

9

上組小学校区における五ヶ瀬町小学校適正規模に係る座談会　意見整理

１．開催概要

開催日時：令和８年２月２７日（木）19：00～20：30

場所　　：第７区生活改善センター

出席者数：４２名（保護者９名、地区住民２９名、パネラー４名）

２．パネルディスカッション

質問		回答
①	現在の全校複式学級という環境において、子どもたちが得ているメリット、逆に懸念しているデメリットは何だと思われますか？	【津奈木教育長】 ・複式指導は先進的な指導とは異なる。２学級（２学年）に１人の教師しかいないので仕方なく選ばざるを得ない指導形態である。前進させるための新しい指導方法ではない。教師が複数人いれば選ぶ必要がない指導であるということをご理解いただきたい。 ・メリットはガイドに沿って子供たち主体で学べること。上級生を手本にして学べること。 ・デメリットは、教師が学級間を移動することにより、豊かに意見を出したり深い対話をしている姿が見られない場合があること。また、児童同士で話し合いが違う方向に進みそうになった場合に方向修正ができないこと。学びの途中の見届けができないことで、最良の瞬間の適切な評価ができない。緊張感、競争心、協調性、リーダー性を養うには刺激が少ない環境という見方もできる。
②	複式学級での学習や、固定化された人間関係の中で、子どもたちの様子（意欲や社会性など）を見ていて、特に「変えてあげたい」と感じる部分はありますか？	【PTA・教育振興会代表　小方様】 ・複式学級で先生が付いていない時間は、自分の子どもに関しては自分なりに考えて意見を出す等の習慣が身に付いている。 ・高学年になると自分たちで考えるのが難しくなってくるのかなと思う。
③	地域のお年寄りや子育ての終わられたご家庭など、地域住民の皆様に	【公民館長代表　甲斐様】 ・子どもが大きくなると親もひと段落し

質問		回答
	とって、地域の子どもたちが与えてくれる喜びとは何だと思われますか？	て若干学校との間に距離を置くのかなと思う。 ・親にとって、出ていった子どもにいずれは帰ってきて地域で頑張ってもらいたいという思いもあるが、仕事が無いこともあり離れている。 ・毎朝学校の下を通ると子ども達が挨拶をしてくれる。学校があるから子ども達がいるということが喜びに繋がる。
④	少子化で同世代の友達と学んだり、遊んだりする機会が少ない子どもたちにとって、町の子どもたちが地域の外の広い世界をのぞいたり、多くの友達と切磋琢磨しながら豊かに学んでいくことの必要性をどのように考えられますか？	【学校運営協議会代表　佐藤様】 ・学校では多様な考えで、認め合い、協力し合い、切磋琢磨しながら、思考力、表現力、判断力を養う。G 授業ではそこを重視しながら授業をしているの身についてきていると思う。 ・今後、統合になると様々な要素が絡んでくるので豊かに学んでいくために今の学び（G 授業等）を続けてもらいたい。
⑤	あなたがこの町で子どもを育て続けたい、あるいはこの町を子育ての場として選びたいと思うために、学校教育に最も期待する要素は何ですか？	【子育て世代代表　後藤様】 ・五ヶ瀬町で子どもを育て続けたいと思う理由は、地域全体で子どもを見守る温かさ。 ・学校教育に期待する要素は、先生の目が行き届く安心感。大規模校には無い、一人一人の個性を尊重して得意なことを伸ばす教育をしてくれていると思う。 ・地域の伝統や自然を活かした体験学習（G 授業）を通じて自分の故郷に誇りを持てる子どもに育ってほしい。
⑥	全国的な視点から見て、子供たちが多様な価値観に触れ、切磋琢磨するために必要な「集団の規模」について、教育委員会としてどのようにお考えでしょうか？	【津奈木教育長】 ・これからの時代を生き抜くために、多様な意見を聞きながら認め合い、協調性を育んだり、時には自分の意見を通したり、折り合いをつけていく力が非常に必要だと考えれば、適正な規模は複式が解消される数とみることができる。 ・具体的には 1 年生と 2 年生の合計が合計 9 名以上いないと単式にはなれない。ただし 2 年生 3 年生は合計で 17 名以上

質問		回答
		いなければ複式になってしまう。つまり、2年生が10名いたとしても3年生が6名ならば2年生は複式になる。それぞれの学年が9名以上いて他の学年と合わせても17名を下らない人数がいないと、多様な学びが展開できる最適人数にはならない。 ・先生の目が行き届いて一人一人の活躍が保証されてしっかりと子どもたちが鍛え上げられるフィールドは1学級10～25名の範囲ではないかと思う。多くなり過ぎると活躍の場がなくなり、自分の力が発揮できなくなるので、大きくなり過ぎないことも適正規模の必要な視点ではないかと思う。
⑦	学校統合を検討する際、保護者として『これだけは譲れない、守ってほしい』という条件や環境は何でしょうか？	【PTA・教育振興会代表　小方様】 ・学校・地域・保護者の連携が大切。地域の方々の協力で色々な行事が成り立っている。 ・統合になっても地域の方の温かい見守り・協力、それに対する学校・保護者の連携をこれからも残していくべき。 ・子ども達がより学べ、育てる環境を踏まえて、その連携を大事にしていきたい。
⑧	地域から学校がなくなると寂しいという声も聞きますが、どんな行事や取組があれば子どもたちと地域との触れ合いが継続できると思われますか？	【公民館長代表　甲斐様】 ・学校で伝統芸能等を行っているが、地域の方に来てもらって教えてもらい発表している。 ・上組は多くの地域の方が行事に参加され、1回の行事で100名くらい参加される。 ・嬉しいことは運動会や他の行事に生徒や卒業生や先生が沢山参加されること。地域との繋がりが感じられる。
⑨	これから先も各地域の協力者（高齢者等）が子どもたちと関わり続け、物作りや昔の話を聞かせたりする機会を守っていくには、どんな工夫があると良いと思いますか？	【学校運営協議会代表　佐藤様】 ・上組は地域との関わりが深いということで、高齢者等が学校に来やすい環境にして欲しい。 ・地域の方々は子ども達に思いをいっぱい持っているので、その思いを生かせ

質問		回答
		る授業を今までより少し増やして欲しい。やり過ぎず、程よい関わり方をしたい。
⑩	現在、学校に通わせている、また、これから学校に通わせる保護者としての不安や希望など、いま伝えたいことは何でしょうか？	【子育て世代代表　後藤様】 ・今現在、同級生は多くて3名。2年生はたった1人。人数が少ないと人間関係が固定化され、コミュニケーション能力が培われないことや多様な考えに触れる機会が制限されることが心配。切磋琢磨できる環境がほしい。 ・G 授業はあるが他校や地域との交流を更に強化し、人数が少ないからこそ広い世界を子ども達に見せてあげて欲しい。
⑪	「五ヶ瀬町として適正な学級数や生徒数について検討していくべきと思うか？」との問いに対し、町民アンケートで約５割、保護者で６割を超える方が「全ての小学校について、できるだけ早く検討していくべき」と回答されていますが、検討に当たって留意すべきこととしてどのようなことが考えられますか？それぞれのお立場からご意見をいただきたいと思います。	【津奈木教育長】 ・行政はそれぞれの意見をまとめる役割なので、アンケートが100%でない以上は異なる意見の懸念材料に耳を傾け、その懸念を少しでも解消しながら進めるのが大事。 ・学校は子どもが主役だが、地域の方々もあらゆる面で主役になれる貴重な場。小規模であってもそこに学校があった恩恵を地域の皆さんが受けているという点は、未来の学校がどのような形になっても皆で知恵を出し合って担保しなければならない。 ・伝統やノスタルジーに引っ張られ過ぎては、時代に応じた子ども達の学びを保証することはできないかもしれない。しかし地域と共に人材を育成されるという基本原則を見失わない学校の在り方を考えることは、この中山間地域の学校に託された最大の課題だと思う。昨日、三ヶ所地区で、子どもが居な

質問		回答
		くなると学校が寂しくなるということを言われたが、誰もがわかっている事。その先の子ども達のことを考えることがとても大事。 ・また、大きい地域から小さい地域の方達の思いをどれだけ汲み取って我々が考えられるか、と言うことも忘れてはならない。
		【PTA・教育振興会代表　小方様】 ・子ども達が如何に学びやすい環境を作れるか、それによって地域の人たちが更に協力し、保護者・地域が一体となって何かをしてあげられる。 ・学びの場のより良い環境、体制づくりが大事。
		【公民館長代表　甲斐様】 ・合併になるのかなとは思うが、先日中学生との対談があった際に子ども達に聞いたところ、保育所で仲良くなり、小学校で別れ、中学校でまた一緒になるが、知ってるけど声をかけられない、上手く応対できないといった声があった。 ・合併は早い方がいいが、これから学校に入ってくる子ども達の親や地域の意見をもう少し聞いて反映させた方が良いのではないかと思う。
		【学校運営協議会代表　佐藤様】 ・学校は地域運営の重要な役割を果たしている。様々な地域の事情もあるが、統合により適正規模になるのか、小規模を存続させるのか。 ・今、学校に関わっている保護者と未就学児の保護者の意見を重視しつつ、地域住民の十分な理解も必要。地域と共にある学校、そういう視点で議論をもっ

質問		回答
		と進めていかなければならない。
		【子育て世代代表　後藤様】 ・子どもの移動負担と放課後の過ごし方を留意していただきたい。通学時間が長くなれば、家庭での朝の時間に影響が出てくるのではないか。放課後の過ごし方では、保護者は学童があることで安心して仕事ができている。 ・スクールバスの充実や、統合後の子どもの生活の質が落ちないよう検討していただきたい。

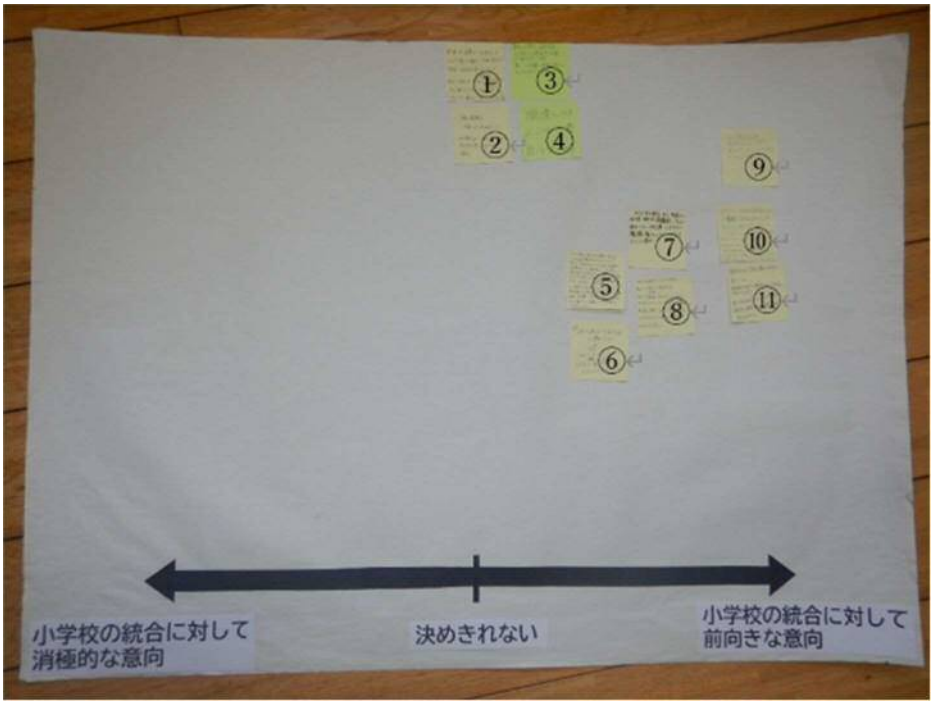
３．グループワーク

	意見
保護者	・運動会のような大きなイベントは人数が少ないと種目が成り立たないため、合同でできないかなと思った。 ・2 年生の保護者である。1 人なので競争心が育っていないと感じる。同じ学年で切磋琢磨できる人がいないのが大きいのかなと思う。地域のイベントで運動会や学習発表会を地域の人に協力してもらう環境はとても良く、子どもの活躍の場が多いのも良いと思うが、逆を言えば子どもの出番が多すぎて負担になる子もいると思う。この環境で 5～10 年たった時に、町民全体の高齢化も進んで地域と連携することにも限界が出てくるのではないか。
地区住民	・4 校が合併した場合の、財政関係を教えてもらいたいという意見が出た。 →統合等に関する方針は決まっておらず、皆さんのご意見を聞いた上でのスタートになる。未来の子ども達や、町全体の人口が減っていく中で、過度な財政負担をかけてまでやった結果、子ども達に大きな負担を残すことになることもありうる。皆さんと対話をしていきながら考えたい。（津奈木教育長） ・鞍岡からの参加である。今日のお話を聞きながら、先日鞍岡であった鞍岡小学校の学習発表会を思い出した。開催場所は旧鞍岡中学校。鞍小の子ども達は鼓笛で廃校になった鞍岡中学校の校歌を受け継いで演奏していて、その校歌を聞く度に地域の方

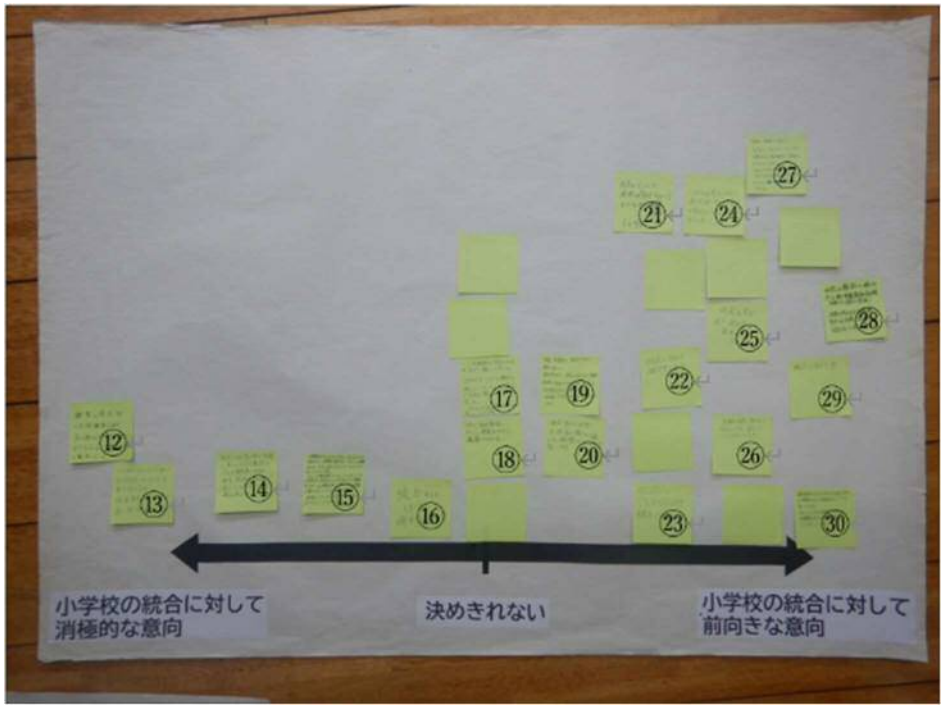
	が泣かれる。そうしたものを見て本当に伝統は素晴らしいなと思う。一方で、未来の子ども達のことを考えた時に、多くの価値観に触れさせる様な機会が日常的にあるのはすごく魅力的であり、その中で自分がもっと頑張りたい、あの子みたいになりたい、自分らしく輝きたいと思える環境を作っていくとしたら、統合した時に学校は何を考えていくべきなのかと思った。唯一メモをしたのが「何を残す、どう残す」ということ。この地域から学校が無くなることを考えると、それは淋しい事だが、例えば鞍岡小の鼓笛を残したい・受け継いでいきたい、どう残す？どう繋げる？と考えた時に地域の力が必要になってくると思う。地域のみなさんと考えていくことが大事だと今日の話で感じた。 ・上組の運動会や発表会に参加するが、マンモス校には無い様な、1 人 1 人が素晴らしく意識が高い。人数が多いと落ちこぼれも多い。中学校、高校で少人数は解消されると思う。小規模だから自主性が無いとか、そういうことではないと思う。少人数で教育的には恵まれていると思う。子どもがいれば上組小学校で育てたいと思う。小規模でも全然問題はないと思う。

４．小学校統合に対する現時点での意向

（保護者）



（地区住民）



付箋番号	意見
（保護者）	
①	将来は合併という形にはなると思いますが、それぞれの学校・地域の良い所（特性）は無くさないでほしい。五ヶ瀬の子たちは大人になっても何処に行っても頼もしい子たちです。大丈夫。
②	子どもの意見も大事にして決めてほしい。地域の方々との繋がりが今のまま続けられればと思う。
③	統合した場合の通学手段、放課後の学童施設の充実が大事だと思います。第一に子ども達の未来を見据えた話し合いをお願いします。
④	環境としては上組小学校が一番良いと思います。
⑤	多い人数の中での学習に対するメリットは理解している。ただ目が行き届くという点は低学年では大切にしていただきたい。人数に応じて 2 クラス（10 人以下）にする等、全学年 1 クラス以外の選択があっても良いのでは。小学校を統合するのであれば中学校での活動の見直しも必要では。神楽・荒踊り等、地域ならではの活動を中学校でできないか。
⑥	合同での運動会･発表会は地域参加型で！各学年は最低でも同級生が 5 人位はいたほうが良いと思う。
⑦	これから先のことを見て、行政と地域や保護者ともっと話をして子ども

付箋番号	意見
	達にとって住みよい環境にしていけたらいいと思う。
⑧	子どもの競争心、友達関係を考えたら統合に賛成だが、朝・夕の送迎（移動）、子ども達のQOL（活動や生活の質）、地域の方々との繋がり、行事を考えると賛成しがたい部分がある。ただ、子ども達の意見にもしっかり耳を傾けてほしい。
⑨	少人数過ぎる。適正な少人数であればメリットがあるでしょうが。
⑩	統合して子ども達を増やすことは大賛成。色々な考え、人の中で育つことで自分自身を大きくしていってほしい。でも地域のエリアが広がることで、学校・保護者・地域の繋がりが今より薄くなるのは仕方ないのか。地域との行事をより積極的に取り組むべき。
⑪	統合することで子どもの横の繋がりは強くしたい。地域の繋がりは維持しつつ行事等と先生の繋がりを通して、別の地区との繋がりをはかりたい。統合しても自然を活かした授業・環境で学んでもらいたい。
（地区住民）	
⑫	教育の原点はへき地教育にあり、少人数のメリットを生かしデメリットはG授業の充実で解消していく。
⑬	このまま上組小でいてほしい。三ヶ所小が上組小に来てはどうか。今からは橋も通り桑野内は栄える。
⑭	統合による多人数で多様な考えにふれる機会はとても有意義であるが、中学、高校と多人数で学ぶことはできるので、今の少人数の良さを生かしたい。
⑮	小規模であることのメリットは大きい。子どもたち１人１人を見届けられ活躍する場も多い。決して小規模であるから中・高・社会人になった時に劣っていると思うことはないと思う。しかし多様な意見に触れるコミュニケーション力、人間関係の固定化といったデメリットを解決するためにG授業がある。できればG授業を増やしていくことができないだろうか。実施する上でハードルとなるものを低くすることができるといいのではないか。
⑯	統合するとしたら場所は何処？
⑰	二夜連続で参加しましたが難しいと思った。だからこそこういう機会を通して色々な立場の人の意見を聞くことが大事だと思った。子どものために何が良いかを考えることが大事。
⑱	中々決めきれない。もう少し時間をかけて議論した方が良い。
⑲	児童、保護者の意見を大切に進めてほしい。統合するときは学校の在り方と同様に、地域（学校がなくなった地域）の在り方も十分考えた上で進め

付箋番号	意見
	てほしい。地域にとっても大切な学校ですので。
⑳	統合するにしても子ども達の学びに適した環境が大切だと思います。
㉑	統合となったら、環境が素晴らしい上組小を第一候補としてください。
㉒	統合に向けて検討すべき。
㉓	残したい。でも子ども達の未来を繋ぎたい。
㉔	いずれは考えていくことであるが、色々な意見を地元の人々から聞いてもらいたい。
㉕	5年先を見て、今！方向性を出すべきと思います。
㉖	多様な意見に触れさせる上では統合も致し方ないのでは。
㉗	毎朝、通勤の折に元気よく挨拶してくれる子ども達に、私自身も元気をもらっています。また、その近くで周辺の掃除をされる先生の姿も素敵です。しっかり議論を重ねてください。
㉘	単校は親育ての場でもあることは重要。（将来の五ヶ瀬を担う人を育てる役目）未来を作るのは子ども達。充分な知恵・考え方を与えてやってほしい。
㉙	統合に向けて！
㉚	現時点ではどちらとも言えませんが、将来的には統合がいいと思います。スクールバスの利用もできるし、保護者の方々の意見を大切にしてほしいです。

坂本小学校区における五ヶ瀬町小学校適正規模に係る座談会　意見整理

１．開催概要

開催日時：令和８年３月５日（木）19：00～20：30

場所　　：荒踊の館

出席者数：３２名（保護者１４名、地区住民１４名、パネラー４名）

２．パネルディスカッション

質問		回答
①	現在の全校複式学級という環境において、子どもたちが得ているメリット、逆に懸念しているデメリットは何だと思われますか？	【津奈木教育長】 ・複式指導は、２学級（２学年）で一人しか教師の確保ができないので仕方なく選ばざるを得ない指導形態である。前進させるための新しい指導方法ではない。教師が複数人いれば選ぶ必要がない指導であるということを理解していただきたい。 ・メリットは、先生がいない間はガイド（虎の巻）を使って子供たちが主体的に授業を進めていくこと。また、上級生を手本にして学べること。 ・課題は、教師が学級間を移動することにより、児童同士で話し合いが違う方向に進みそうになった場合に方向修正ができない。学びの途中の見届けができないことで、最良の瞬間の適切な評価ができない。また、少人数でいつも固定化された相手と同じトーンで意見交換することが習慣化され、目は行き届くが緊張感、競争心、協調性、リーダー性を養うには刺激が少ないのではないかと思う。
②	複式学級での学習や、固定化された人間関係の中で、子どもたちの様子（意欲や社会性など）を見ていて、特に「変えてあげたい」と感じる部分はありますか？	【PTA・教育振興会代表　藤本様】 ・複式学級があることによって、保育所から上がった１年生は２年生がどのように行動しているのかを近くで見ることができるので、集団生活などを早く身に付けることが出来る。 ・その反面、保育所から上がって早く慣れることが一番大切だが、複式だと先生

質問		回答
		も中々密に応対できないので、複式にならないためにも早く統合を目指してほしい。
③	地域のお年寄りや子育ての終わられたご家庭など、地域住民の皆様にとって、地域の子どもたちが与えてくれる喜びとは何だと思われますか？	【公民館長代表　長田様】 ・一番は登下校の時に子ども達から声掛けしてもらい、元気な姿を見せてくれることが嬉しい。 ・また、継承教室で伝統芸能があるが、発表会や運動会でそれを披露してくれること。継承教室を何とか受け継いでいってほしい。
④	少子化で同世代の友達と学んだり、遊んだりする機会が少ない子どもたちにとって、町の子どもたちが地域の外の広い世界をのぞいたり、多くの友達と切磋琢磨しながら豊かに学んでいくことの必要性をどのように考えられますか？	【学校運営協議会代表　甲斐様】 ・G授業で葡萄の収穫や剪定、販売などの手段を選べるが、児童数が少ないと複式で先生が両方に付かないといけないので、作業手段の選択ができない。
⑤	あなたがこの町で子どもを育て続けたい、あるいはこの町を子育ての場として選びたいと思うために、学校教育に最も期待する要素は何ですか？	【子育て世代代表　松本様】 ・多くの子が高校進学を機にこの町を離れていく。だからこそ小学校や中学校で過ごす時期が大事。 ・五ヶ瀬ならではの自然や仕事に触れてこの地域の魅力を知ることができるような学校生活を送ってほしい。
⑥	全国的な視点から見て、子供たちが多様な価値観に触れ、切磋琢磨するために必要な「集団の規模」について、教育委員会としてどのようにお考えでしょうか？	【津奈木教育長】 ・人数がこれだけいたらベストというのは数値では示せない。同じ学年集団の単一学級で学ぶことは、学習の工夫もしやすいし共同的な学びや判断力、表現力を養うにも適正な環境と考えられる。そのため、一つの考え方として複式が解消される規模を適正集団規模と考えることができる。 ・具体的には 1 年生と 2 年生の合計が 9 名以上いれば単式学級になる。ただし 2 年生と 3 年生が合計で 17 名以下であれば 2 年生と 3 年生は複式になってしまう。同級生同士で発達段階に応じた単

質問		回答
		式学級の学びを展開するには最低でもそれぞれの学年が 9 名以上いて、次の学年と合わせても17名を下らない人数がいないと多様な学びが展開できる最適人数の考えにはならない。 ・ただし、多ければ良い訳ではない。大人数の大規模学校だと役割分担が細分化され一人当たりの経験値が少なくなり、活躍の場が減るデメリットがある。坂本小学校の運動会は同じ子が色んな場面で活躍できる場がある。子ども達をどこまで伸ばすか？という目標と、そのためにどんな学び方をさせるか？という、先生方の授業のデザインが重要である。先生方が豊かに授業のデザインをするためには、ある程度の人数がいないと発達段階に応じた指導ができないという課題があるので、一つの参考にしていただきたい。
⑦	学校統合を検討する際、保護者として『これだけは譲れない、守ってほしい』という条件や環境は何でしょうか？	【PTA・教育振興会代表　藤本様】 ・学校と地域の密着性が離れないこと。行事に地域の方をどのように参加してもらうか。 ・地域で行っている伝承教室は子ども達にとっても大切なことなので工夫してもらいたい。また、人数が増えても１人１人がしっかり挨拶ができるよう教育していただきたい。
⑧	地域から学校がなくなると寂しいという声も聞きますが、どんな行事や取組があれば子どもたちと地域との触れ合いが継続できると思われますか？	【公民館長代表　長田様】 ・この地域は行政区１区で 1 つの小学校である。小学校の運動会は地域の運動会でもあるので、それが無くなるのは淋しい。 ・地域の祭りに子ども達が参加してくれているが、いずれ無くなってしまうのかなと思う。地域の伝統芸能は大切なので、これからも子ども達には関わってもらいたい。
⑨	これから先も各地域の協力者（高齢者等）が子どもたちと関わり続け、物作りや昔の話を聞かせたりする	【学校運営協議会代表　甲斐様】 ・自分が子どもの頃、参観日で保護者や祖父母、協力してくれる地域の高齢者を

質問		回答
	機会を守っていくには、どんな工夫があると良いと思いますか？	呼んで竹馬や竹とんぼ、竹籠づくり等をしていた。 ・今はそういった行事がなく、竹細工をするお年寄りも減っていると思うので協議が必要かなと思う。
⑩	現在、学校に通わせている、また、これから学校に通わせる保護者としての不安や希望など、いま伝えたいことは何でしょうか？	【子育て世代代表　松本様】 ・不安としては、児童数が少ないこと。クラスの人数が少ないことで学習の幅や運動会や発表会で、本来なら出来ることをさせることが出来ないのではないかと思う。 ・集団生活の中で学ぶ人間関係、意見の違いや価値観に触れて成長できるのか？という不安もある。この学校に通わせたいと思う反面、これが子どもにとって良いことなのか？という気持ちもある。
⑪	「五ヶ瀬町として適正な学級数や生徒数について検討していくべきと思うか？」との問いに対し、町民アンケートで約５割、保護者で６割を超える方が「全ての小学校について、できるだけ早く検討していくべき」と回答されていますが、検討に当たって留意すべきこととしてどのようなことが考えられますか？それぞれのお立場からご意見をいただきたいと思います。	【津奈木教育長】 ・「早く検討を…」と言われるが、県教育委員会の中山間地域への先生方の配置計画もあるため、「早く」と言われて、来年から…というのは難しい。先生方の動きを国や県とやり取りをしながら進めていくので年数が必要である。 ・アンケートが 100％でない以上は異なる意見の懸念材料に耳を傾け、その懸念材料を少しでも解消しながら進めるのが大事。 ・学校は子どもが主役だが、地域の方々もあらゆる面で主役になれる貴重な場。小規模であってもそこに学校があった恩恵を地域の皆さんが受けているという点は、未来の学校がどのような形になっても皆で知恵を出し合って担保しなければならない。学校が統合されても、この地域でやってきたことを次の学校で

質問		回答
		どういう風に形にしていくのか。何を残して何を削っていくのか、そういうところも丁寧にやっていかなければならない。 ・伝統やノスタルジーに引っ張られ過ぎては、時代に応じた子ども達の学びを保証することはできないかもしれない。しかし地域と共に人材を育成されるという基本原則を見失わない学校の在り方を考えることは、この中山間地域の学校に託された最大の課題だと思う。
		【PTA・教育振興会代表　藤本様】 ・統合する時に何処の小学校になるのか？距離がどれくらい離れるのか？ ・全体を通して平均的な距離の所が良いのではないか？通学の手段や放課後の学童の在り方を考えていくのに、こういう話し合いの場を数回開催した方が良いのではないか。
		【公民館長代表　長田様】 ・人数が少なくて先生の目が行き届くのはとても良いと思う。 ・複式が始まり 16 年経っているので環境などが変わっているのかなと思う。教頭先生から聞いた話では、坂本小の学習は充実しているように感じている。統合となれば、多くの生徒の中で子ども達が切磋琢磨し、それぞれの個性を伸ばしていける学習をしてほしい。
		【学校運営協議会代表　甲斐様】 ・先生の目が行き届くのは良いことだが、複式になると教育長が言われたように意見の取りこぼしなどがあるので単式学級が良いと思う。

質問		回答
		【子育て世代代表　松本様】 ・来年度の坂本小の入学生はゼロの予定。統合の検討は大事だが、どういうスケジュール感で進めていくのか、皆が気になっていると思う。1年後なのか、5年後なのか、１０年後なのか等を少し示していただきたい。

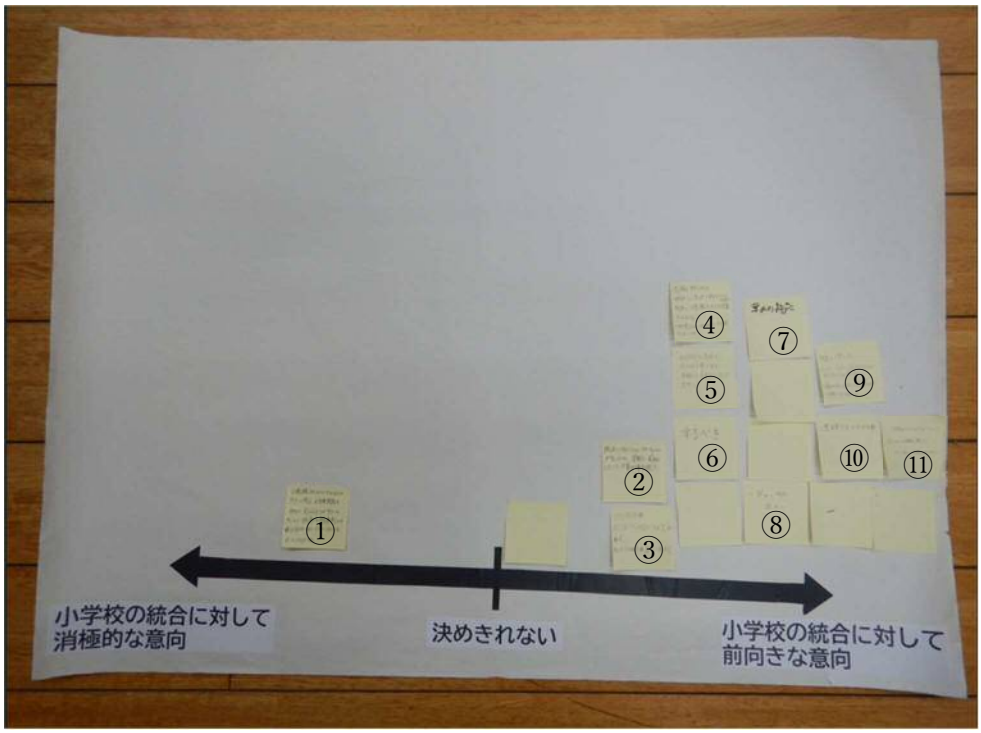
３．グループワーク

	意見
保護者	・低学年のうちは単式学級がいいと思う。伝統芸能の継承教室を部活の様に地域から移行していくという意見もあった。 ・児童数が減っているのが現実なので、統合はあるのかなと思う。統合により中央に子ども達が集まった場合、各地区の伝承教室は、各校区の子ども達だけで「逆G授業」という感じであってもいいのかなと思う。 ・今は学校統合が主体の話だが、自分的にはどうやったら伝統芸能が残っていくのか？というのが気になっている。子ども達がこれからいなくなるのなら、よそから呼んで来るとか。一人一人の意識が変わるといいのかなと思う。 ・自分の子どもが坂本小に入学する時は１人、同級生がいないのは流石に可哀想なので、学校が統一されるのは嬉しい。 ・自分の子どもが通っているが、皆さんの意見を聞くと私は統合ではないかと思う。ただ統合となればスクールバス等を活用すると思うが、脚力が弱る傾向にあると思う。小学校の時期は歩くことで脚力や生活習慣が身に付いてくると思うのでスクールバス等で学校の近くまで送らず、何か良い方法がないかを検討して欲しい。
地区住民	・複式を否定するものでもないが、今のやり方がどれだけ良いのかというのも、よく分からない。ただ、このまま続けていってもどこかで児童数が今以上少なくなり学級そのものが成り立たなくなると思う。統合しても減少していくと思う。統合することで各小学校の価値観をどう整理するのかということは大事。各小学校でのスポーツ少年団の整理も大変だと思う。各学

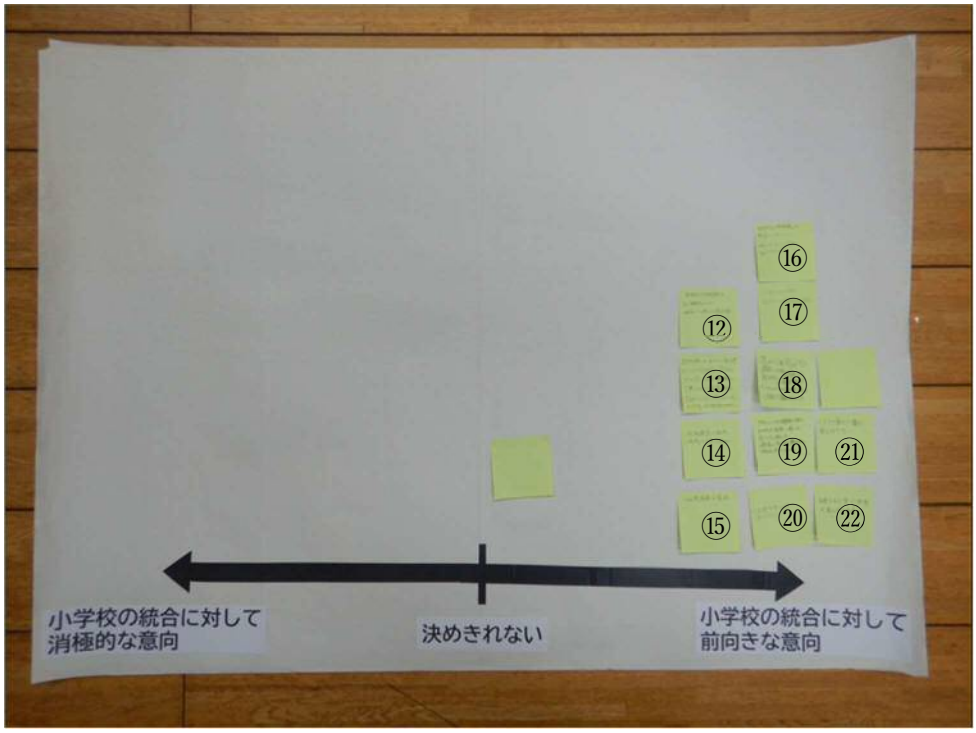
	意見
	校で行事があり、地域の繋がりがあるが、それも稀薄になっていくのかなと思う。一つになることで経費削減にもなると思う。現状を考えるとできるだけ早くに統合を考えるのが良いという考えである。 ・保育所で一緒でも小学校で別れ、中学校でまた出会う。保育園で仲良しになっても別れて、G 授業で会って…という感じで、淋しいのかなと思う。自分が通った学校が無くなるのは淋しいと思うので子ども達がどう思うのか、先生たちも大変だと思う。 ・伝統芸能の継承について、いつから学校で教えるようになったのか分からないが、自分たちの子どもの頃は無かった。統合して伝統芸能を継承するようになれば地域も変わらないといけないと思う。例えば地域の人たちが練習をする時は、子ども達も呼ぶ等。統合については、やはり入学時に一人では淋しくて可哀想なので、一番は子どものことを考えて話し合うべき。

４．小学校統合に対する現時点での意向

（保護者）



（地区住民）



付箋番号	意見
（保護者）	
①	小規模であるからこその良さは大きいと思う。小学校の段階は細やかに見ることができる良さが大きいと思うので、統合は将来的には検討するが、今はまだしなくてもよいのではないか。
②	統合に向けてのスケジュールが立ったら、早期に周知していく必要があると思う。
③	地域行事の地域の繋がりは忘れず、子ども達を第一に考える。
④	・荒踊りを続ける事。 ・統合した学校を、自分たちの学校という意識が持てる対策をとること。 ・地域との繋がりを絶たないこと。
⑤	反対的な意見を聞くのも大切ですが、早期に対応いただきたい。
⑥	するべき。
⑦	早目の対応。
⑧	早目の対応を求む。
⑨	・友達との学び合い。 ・やりたいスポーツをできるだけやらせてあげたい。

付箋番号	意見
	・数が多いと付き合い方が多様になり良い。
⑩	荒踊りを続けること。
⑪	5 年後の子どもの為でなく、子どもの 20 年後を考えて丁寧に話していきたい。
（地区住民）	
⑫	各地区の伝統芸能を五ヶ瀬町民として継承してほしいと考えます。
⑬	各地域の方々に納得していただけるよう、今日のような会、又は説明会を丁寧にしていく必要がある。大まかなスケジュールを今後。（展開）
⑭	伝承教室の継続。地域の行事への参加。
⑮	伝統芸能の存在。
⑯	各学校の価値観を尊重してほしい。地域の意識は低くなりそう。
⑰	100－0 は無い。前向きな検討を求む。
⑱	・荒踊り、棒術、団七踊り等の教室を学校で行う。（選択制） ・スクールバスの停車場は離れた所。
⑲	どちらにしても課題はある。子ども達自身に迷いがないのであれば、統合に向けて検討を始める方が良い。
⑳	子どもを中心に考えてほしい。
㉑	子どものことを一番に考えるべき。
㉒	出来るだけ早い決定を望んでいます。

鞍岡小学校区における五ヶ瀬町小学校適正規模に係る座談会　意見整理

１．開催概要

開催日時：令和８年３月６日（金）19：00～20：30

場所　　：鞍岡複合型交流施設

出席者数：４２名（保護者１０名、地区住民２８名、パネラー４名）

２．パネルディスカッション

質問		回答
①	現在の全校複式学級という環境において、子どもたちが得ているメリット、逆に懸念しているデメリットは何だと思われますか？	【津奈木教育長】 ・複式指導は、２学級（２学年）で一人しか教師の確保ができないので仕方なく選ばざるを得ない指導形態である。前進させるための画期的な指導方法ではない。教師が複数人いれば選ぶ必要がない指導であるということを理解していただきたい。教頭先生が授業を受け持ち複式学習とならないようにしていることからもお分かりいただけるかと思う。 ・メリットは、先生がいない間はガイド（虎の巻）を使って、子供たちだけで主体的に学びを展開していくこと。制限時間の中でしっかりと考え抜いて、先生が戻ってくるまでに責任を持って答えを出すという習慣が身に付く。また、上級生を手本にして学べること。 ・課題は、教師が学級間を移動することにより、児童同士で話し合いが違う方向に進みそうになった場合に方向修正ができない。学びの途中の見届けができないことで、最良の瞬間の適切な評価ができない。また、少人数でいつも固定化された相手と同じトーンで意見交換することが習慣化され、目は行き届くが緊張感や競争心を持たせて子ども達を育てるには、少しハードルが低い様に感じ取れるのが課題である。
②	複式学級での学習や、固定化された人間関係の中で、子どもたちの様子	【PTA・教育振興会代表　中園様】 ・上下関係があまり無く、上級生に対して

質問		回答
	（意欲や社会性など）を見ていて、特に「変えてあげたい」と感じる部分はありますか？	友達感覚で、呼び捨てで呼んでいるところがある。上下関係はハッキリさせたほうが良いと思う。
③	地域のお年寄りや子育ての終わられたご家庭など、地域住民の皆様にとって、地域の子どもたちが与えてくれる喜びとは何だと思われますか？	【公民館長代表　岡田様】 ・とにかく子どもの存在、この地域にいてくれることが一番の喜び。 ・また、登下校の時に挨拶をしてくれて元気を与えてくれることが喜びである。
④	少子化で同世代の友達と学んだり、遊んだりする機会が少ない子どもたちにとって、町の子どもたちが地域の外の広い世界をのぞいたり、多くの友達と切磋琢磨しながら豊かに学んでいくことの必要性をどのように考えられますか？	【学校運営協議会代表　杉田様】 ・質問は「少子化」となっているが、実際は「過疎化によって子育て世代が減少して起こる子どもの減少化」だと思う。子育てをされている家庭のほとんどは二人以上の子どもがいるので、そこを取り違えると今後の政策がズレてくるので注意しなければならない。 ・また、学校評価委員会における学校評価で鞍岡小は 4 段階のうち 3.5 という高評価である。生徒数は 29 名と少ないが少人数の良さが今は出ている。 ・ただ、現在の保育園生が 15 人しかいないので、6 年後には 15 名になってしまう。これを増やすことができればいいが、全国で「子どもが減っている・人口が減っている」と言うことをずっと言ってきているのに何も改善できていない。人口減少は避けられないことなので、やはり子どものことを一番に考えないといけない。子どもを増やすことができないならば、子どもにとってより良い教育に移行していく必要があると思う。
⑤	あなたがこの町で子どもを育て続けたい、あるいはこの町を子育ての場として選びたいと思うために、学校教育に最も期待する要素は何ですか？	【子育て世代代表　大鶴様】 ・子ども達の将来の選択肢を広げていくこと。この町で育ち、この先の進学や就職、どんな道も自分で選べる力を付けてほしい。 ・そのために、基礎学力は勿論、様々な考え方や世界に触れる機会を大切にしてほしい。ここにいるから選択肢が限ら

質問		回答
		れるではなく、ここで育ったからこそ自信を持って外に出ていける、そんな力を育てていただきたい。
⑥	全国的な視点から見て、子供たちが多様な価値観に触れ、切磋琢磨するために必要な「集団の規模」について、教育委員会としてどのようにお考えでしょうか？	【津奈木教育長】 ・人数がこれだけいたらベストというのは数値では示せない。発達段階を考慮して同じ学年集団の単一学級で学ぶことは、学習の工夫もしやすいし、複式学習より期待ができる部分もある。考え方として、複式が解消される規模を適正集団規模と考えることができる。 ・具体的には 1 年生と 2 年生の合計が 9 名以上いれば単式学級になる。ただし 2 年生と 3 年生が合計で 17 名以下であれば 2 年生と 3 年生は複式になってしまう。同級生同士で発達段階に応じた単一学級の学びを展開するには最低でもそれぞれの学年が 9 名以上いて、次の学年と合わせても 17 名を下らない人数がいないと多様な学びが展開できる最適人数の考えにはならない。 ・ただし、多ければ良い訳ではない。大人数の大規模学校だと役割分担が細分化され一人当たりの経験値が少なくなり、活躍の場が減るデメリットがある。鞍岡小学校の運動会は同じ子が色んな場面で活躍できる場がある。子ども達をどこまで伸ばすか？という目標と、そのためにどんな学び方をさせるか？という、先生方の授業のデザインが重要である。先生方が豊かに授業のデザインをするためには、ある程度の人数がいないと発達段階に応じた指導ができないという課題があるので、一つの参考にしていただきたい。
⑦	学校統合を検討する際、保護者として『これだけは譲れない、守ってほしい』という条件や環境は何でしょうか？	【PTA・教育振興会代表　中園様】 ・鞍岡小学校と言えば鼓笛だと思う。学校として、それぞれの地域の祭りに参加すれば、地域との関わり等に還元していけると思う。 ・また、それぞれの学校の校歌が無くならないように伝統として残していくと良

質問		回答
		いのではないか。
⑧	地域から学校がなくなると寂しいという声も聞きますが、どんな行事や取組があれば子どもたちと地域との触れ合いが継続できると思われますか？	【公民館長代表　岡田様】 ・地域の頑張りが必要になる。鞍岡は、祇園祭りや運動会があり、当然大人も子どもも取り組む行事。 ・また、地域の教育資源になり得るものを積極的に使っていくことが大事。地域でなぎなたの指導されている方、放課後教室やスキーなどのアウトドアの体験を指導される方、そういう資源を学校と繋げる事も大事。 ・そして学校と組織を繋ぐ「人」、コーディネーター役をする人が必要になってくると思う。
⑨	これから先も各地域の協力者（高齢者等）が子どもたちと関わり続け、物作りや昔の話を聞かせたりする機会を守っていくには、どんな工夫があると良いと思いますか？	【学校運営協議会代表　杉田様】 ・鞍岡小学校では子ども達とくららに出向き、高齢者との触れ合い活動を行っている。授業でも家庭科で高齢者に手伝ってもらったり農業体験をしてもらったりと、地域の方に学校へ出向いてもらいやってきている。 ・地域の方は声をかければほとんどの方が協力すると思うので、合併しても学校教育の中でそれらの位置付けをし、地域の方が持つ得意分野（国語や算数でも良い）で活躍してもらうのも良いと思う。
⑩	現在、学校に通わせている、また、これから学校に通わせる保護者としての不安や希望など、いま伝えたいことは何でしょうか？	【子育て世代代表　大鶴様】 ・安心して通わせられる環境であってほしい。少人数で丁寧に見てもらえる良さはあると思うが、人数が少な過ぎることで人間関係が固定化してしまわないか、様々な考え方や刺激に触れる機会が十分にあるのかという不安もある。 ・また、登下校の安全面では、歩道が無い道もあり心配。子どもが安心して通い、ある程度の集団の中で学び合いながら成長できる環境であることを願う。

質問		回答
⑪	「五ヶ瀬町として適正な学級数や生徒数について検討していくべきと思うか？」との問いに対し、町民アンケートで約５割、保護者で６割を超える方が「全ての小学校について、できるだけ早く検討していくべき」と回答されていますが、検討に当たって留意すべきこととしてどのようなことが考えられますか？それぞれのお立場からご意見をいただきたいと思います。	【津奈木教育長】 ・アンケートの結果が 100％でない以上は異なる意見の懸念材料に耳を傾け、その懸念を少しでも解消しながら進めるのが大事。私は行政の代表で来ているが、一番懸念するのは、行政は合理性等の都合だけで処理をすると見られがちで、地域の皆さんと行政とが対立構造で未来を語るのはくだらないと思う。私は行政の人間である前に教育者であるので、子ども達を育み未来を支える人材を作る場所が学校だとすれば、その重さというはしっかりと考えて、子供を中心に置いて話さなければならない。 ・子どもが主役というのは当然だが、学校は保護者や地域の方々もあらゆる面で主役になれる貴重な場。小規模であってもそこに学校があった恩恵を地域の皆さんが受けているという点は、未来の学校がどのような形になっても皆で知恵を出し合って担保しなければならない。鞍岡中学校が廃校になって統合したが、その時に、学校が一つになっても子ども達が伝統芸能をしに鞍岡に来るのはお約束だったかもしれない。今では中学校の先生方が引き継いでずっと続けている。これが何処かで、先生たちの意識が途絶えてしまったら、地域と学校を結ぶ太いパイプがどんどん細くなってしまうと思う。そこで、後から来る先生方にきちんと伝えていく仕組みも大事になってくると思う。 ・伝統や懐かしさに引っ張られ過ぎては、時代に応じた子ども達の学びを保証す

質問		回答
		ることはできないかもしれない。「何を削って、何を残すのか」というのを皆さんとこれから先も協議しなければならない。 ・地域と共に人材を育成されるという基本原則を見失わない学校の在り方を考えることは、この中山間地域の学校に託された課題だと思う。
		【PTA・教育振興会代表　中園様】 ・地域との繋がりや通学路の安全面に配慮するのが望ましい。 ・また、統合にあたって、小学校の建物自体は残っていくので、今後それをどう活用するかも考えないといけない。
		【公民館長代表　岡田様】 ・出来れば小学校は地域に残って欲しい。地域の中に小学校があることは、色んな意味で、伝統・文化をつくり出すものだと思う。学校問題は地域づくりの一環だと思う。減ったから一緒にするでは解決策にはならない。この資料にあるように、令和 12 年には生徒数が 87 名になってしまう。ということは、15 年前の廃校前の三ヶ所中学校以下になってしまう。統合して一緒になっても、根本的な解決にはならない。 ・今、町は過疎対策や移住対策、空き家対策等をやっているので、ひょっとしたら空き家が解消されて今後は子どもが増えて違う展開になるかもしれない。どうやったら増やせるかということを考えないと、5 年先、10 年先、人がいなくなってしまう。そうなってからでは遅い。ここで踏ん張り、皆で知恵を出して考えなければ、鞍岡は無くなってし

質問		回答
		まう。 ・鞍岡中学校が無くなった当時に、小学校を持ってきたらいのでは？という話があった。結果的に地域の方が頑張り、「くらら」という形で作り上げた。これは正にお手本だと思う。仮に統合により空き校舎になった時に、どう解決するかということも十分に準備しておくこと、これも大事な問題だと思う。
		【学校運営協議会代表　杉田様】 ・岡田さんの意見に基本的には賛成である。 ・しかし、鞍岡中が合併する時には、自分の息子の学年は 3 名しかいなかった。子どものことを考えた時に、私は合併を決断した。上組の数字を見ると、15 名からそこまで減っていない。鞍岡は極端に 15 名と減って見えるが、そこからしばらくは15名くらいでいくのかなと思う。その数字は守らないといけない。増やせるのならば、あらゆる手を使って増やさなくてはならない。現状が子どもにとってどうか？ということを地域も保護者も含めて考えなければならない。
		【子育て世代代表　大鶴様】 ・子ども達のために、できるだけ早く検討すべき。ただし、通学の安全や地域との関わり等も大切な要素なので、スピード感を持ちながらも地域の声を丁寧に聞き、進めていかなければならない。

３．グループワーク

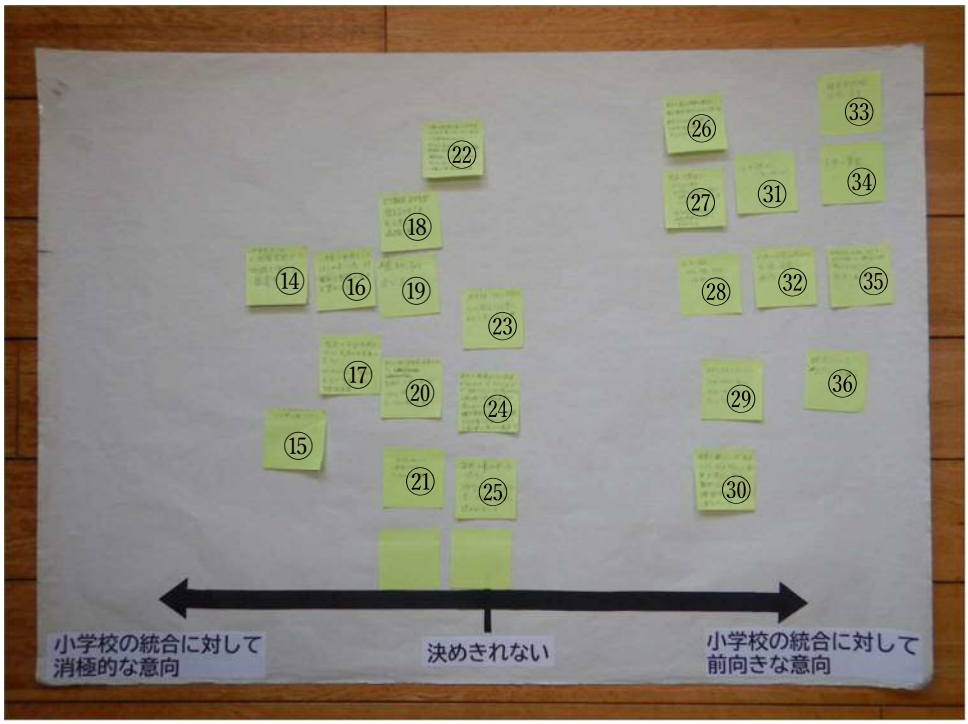
	意見
保護者	・必ずしも大きな学校だけが良いわけではない。少ない人数でも色んな面で成長したという話も聞く。ニュースで創立 150 周年や、子どもがいなくなって廃校など様々だが、長く続く学校はどうやって存続させたのか？統合せずに続けられる、何か参考になるものがあるのではないか。 ・中学校の職員で保護者である。合併によって校舎をどこの校区にするのか？と言うことで大きく変わってくると思う。現在、中学校の生徒数も減っていて、存続も厳しい状況なので合併するなら小中一貫ということも考えるべきではないか。そうすれば 9 年間を見据えて職員の配置なども考えることができる。教育の質を考えると、色々なことができるのではないかと思う。
地区住民	・鞍岡は合併を望んでいないが、合併に賛成した方の理由は、少子化になってきたので合併したら良いのでは？と、軽い考えで言っていることだと思う。子どもの声・姿が消えていくと大変寂しい。もう一度真剣に考えて、違うやりかたもあるのではないかと思う。

４．小学校統合に対する現時点での意向

（保護者）



（地区住民）



付箋番号	意見
（保護者）	
①	小学校が無くなると子どもが減ります（その地域で子育てしようと思えない）。将来的にその地域は消滅してしまいます。だから最後まで粘るべし。人数については予算でカバー！！
②	地域の住民を増やすことが優先ではないか。合併したところで10年後には同じようになっている。子どもがいなくなると地域は無くなっていく。
③	オンライン、G授業等、適正規模に対応する方法はまだまだある。でも地域の独自の取り組みや行事を通して学び人と関われる機会は、統合すると確実に減少する。地域に見守られ、その中で育つメリットの方が遥かに大きいと思う。
④	今は統合しなくてもよいと思う。先生、子どもの数も減ってしまうと思う。
⑤	地域の方、先生方と意見を出し合い、鞍岡小学校の存続を希望。
⑥	子どもの気持ち、意見をもっと聞いてみたい！より良い方向を望みます。
⑦	統合するなら小中一貫かと。できれば鞍小を残したい。
⑧	子どもの協調性等を考えると、少人数よりも少しでも人数が多い方がとても有利だと考えます。しかし、とても簡単には決断できないことです。

付箋番号	意見
	もっと地域の皆さんたちと意見交換する場を持つべきです。よく考えていきたいです。
⑨	地域のことが大好きな子ども達の考えも、難しいかもしれないが知りたい。伝統や地域の繋がりを大切にしていくこととの取捨選択が必要だと思いました。
⑩	地域の方々、保護者が同じ方向を向いて一緒に考えることが大切だと思う。場所もしっかり考えて欲しい。伝統文化を大切にしたい。
⑪	校歌・鼓笛、無くなってほしくない。少人数の良さもある。多人数の良さもある。地域があって…。
⑫	条件付きなら…→小中学校での統合・場所。　伝統！！地域！！
⑬	小中学校を一緒にする考えも良いと思った。学校の場所、スクールバス等考える。
（地区住民）	
⑭	できるだけ小規模学校で。地域で育てる教育を。
⑮	子どもの声が聞こえる。
⑯	いずれは合併にしたほうが良いと思います。鞍岡小学校の利用を望みます。
⑰	統合はもっと時間をかけて検討の必要有と思う。町内の人口を増やす方法を考えることが大事だと思う。
⑱	どうすれば子どもが増えるのか？をもっと考え、的確に実行する。
⑲	再度の検討をすべき。
⑳	統合した場合、教職員も配置されなくなり、教職員のお子様も減ります。淋しい限りです。まだやれることはあります。
㉑	もう少しやれることを頑張ってみたい。「いつ」というのが難しい。
㉒	様々な個性を持った子供がどのように育ってほしいのか話し合う必要があるのではないか。その上で統合、複式学級、学級規模を決定していく。最終的には保護者の考え方になると思う。小学校は地域文化の拠点。
㉓	統合する、しないも含めてもっと検討する必要はあると思います。
㉔	統合＝鞍岡がなくなると、ほとんどの人が決めつけている感がある。子どもの登下校時の声、姿が消えるのは寂しいものです。中学校も無くなり、小学校は残してほしいけれど、子どもの事を思うと複雑です。
㉕	子どものことが第一だと思うし…。時間がかかり過ぎるのもどうかと思う。決めきれない！！
㉖	子ども達の将来を考えた場合、統合されるべきだと思います。統合してか

付箋番号	意見
	らでも、地域との関わりは可能ではないでしょうか？
㉗	統合には積極的。ただし２つの条件。 ① 行政が一丸となって子育て世帯を増やす努力をより一層行うこと。 ② それぞれの地域に出向き、伝統を継承する活動を取り入れること。
㉘	小中一貫校。地域・学校・子ども達、三身一体での体制。
㉙	子どもの未来を考えると、多種・多様な意見がある中で育つ方が良いと思う。
㉚	将来が厳しい状況なので、今後多くの意見を交わしながら数年以上かけて検討する必要があるのでは。
㉛	小中一貫校しかないのでは？
㉜	子供に不安を持たせない様、安全に検討。
㉝	統合するべきだと思います。
㉞	小中一貫校。
㉟	出来るだけ早く、何処にどの様な形で統合するか決められるように話し合った方が良い。
㊱	統合について前向きに考える。